

歴史資源開発機構主任研究員 大沼芳幸氏の全行程解説付き！

休暇村近江八幡主催ツアー

白洲正子が愛した近江の仏像 仏像鑑賞入門

2026年10月27日(火)～1泊2日 休暇村スタッフ同行

1泊4食付：参加費 47,000円 ※最少催行人数15名・定員25名
(1名1室利用の場合は3,000円増し)



石馬寺十一面観音



石馬寺 石階段



上：櫛野寺十一面観音
下：油日神社

近江をこよなく愛した白州正子。彼女の作品には彼女の魅了した近江の仏像が数多く現れます。仏像を鑑賞するための基礎知識があれば、仏像の輝きも一段と増します。仏像鑑賞の基礎を、講座で分かりやすくレクチャーした後、白洲正子を魅了した近江の仏像を探访します。

☆旅の見どころ☆

- 石馬寺・・・静かな木立の中の乱れ石積みの坂を上りつめると、古刹石馬寺が現れます。寺伝によると1400年前に聖徳太子が当地を訪れ、山麓の松の木に馬をつなぎ、霊地を探して山上に登り、戻るとその馬は石になって池に沈んでいたことから、これに霊異を感じた太子が開基したと言われています。聖徳太子直筆の「石馬寺」の三文字の木額と太子合掌・乗馬像は今もなお重要な寺宝として所蔵され、石になったと伝えられる馬は坂の下の蓮池に背中を見せています。大仏宝殿には十一体の国指定重要文化財の仏像が安置されているほか、書院の庭「石馬の石庭」は白州正子作「かくれ里」でも紹介され、四季折々の風情があります。
- 油日神社・・・油日岳の山頂に油の火のような光とともに油日神が降臨したことから「油日」の名がついたと伝えられる。また、聖徳太子が社殿を建立し油日大明神を祀ったとの伝承もある。油日岳の山頂には奥宮である岳神社が祀られているが、奥宮に対する里宮が油日神社である。

☆行程☆

【1日目】

10：30 JR近江八幡駅南口集合・発一休暇村近江八幡にて講座「仏像鑑賞入門1」・昼食「仏像鑑賞入門2」一石馬寺林立する仏像群一休暇村近江八幡 ツアーオリジナル会食での夕食・泊

【2日目】

各自朝食後9：00 休暇村近江八幡出発一櫛野寺秘仏十一面観音特別公開一油日神社一昼食一飯道寺一JR大津駅 16：30頃解散 (貸し切りバス会社：びわこ観光バス)

ご予約後に詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたします。

※天候、その他の事情により旅程が変更または中止になる場合があります。

旅行企画・実施：一般財団法人休暇村協会 休暇村近江八幡/東京都知事登録第2-4968号/(一社)全国旅行業協会会員/〒523-0801滋賀県近江八幡市沖島町ケ浜

国内旅行業務取扱管理者：岸田雅彦 浅井敬治

※旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う責任者です。各旅行契約に関して担当者からの説明に不明な点があれば、旅行業務取扱管理者にご質問ください。

休暇村
自然にとぎめリゾート

おう み はち まん
近江八幡

TEL 0748-32-3138

〒523-0801 滋賀県近江八幡市沖島町ケ浜

<https://www.qkamura.or.jp/ohmi/>

